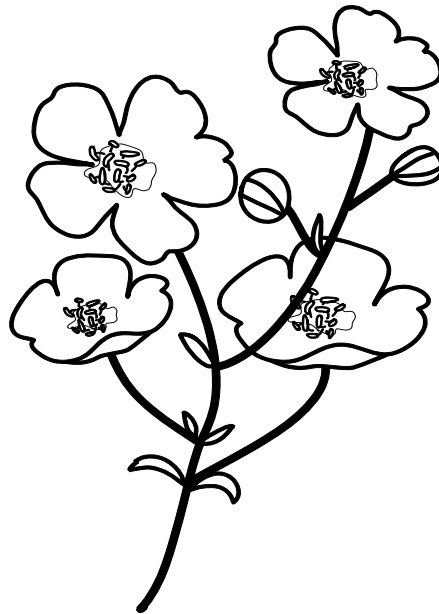


令和8年度
運営に関する計画
【策 定】



大阪市立菅原小学校

(様式例1)

大阪市立菅原小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、遅刻や欠席が常態化している児童や不登校傾向にある児童が一定数いる。背景には、生活リズムの乱れや家庭環境、対人関係への不安、学習への苦手意識など、複合的な要因が考えられる。そこで、組織的かつ継続的な支援体制の強化をめざし、校訓「強く・正しく・明るく」のもと、児童一人ひとりが心身ともにたくましく成長し、正しい判断力と豊かな心を身につけ、明るく前向きに生活できるよう教育活動を推進してきた。この理念に基づき、自己肯定感の育成や規範意識の向上、思いやりのある人間関係づくりを重視した指導を行ってきた。令和8年度以降も、大阪市の掲げる基本理念の実現に向け、本校の教育実践を一層推進していくようにする。

以上をふまえ、下記の3つの柱についての本校の現実と課題について整理する。

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- ・校内調査により「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した児童は97.9%で、いじめに対する基本的な認識は高い水準で維持している。いじめの早期発見・解消に向け、いじめ対策委員会や生活指導連絡会を継続して行い、情報共有や対応について話し合うなどの取組を今後も継続して行い、「いじめを許さない」学校づくりをめざし、「チーム学校」で取り組んでいく。
- ・不登校児童について組織的対応を協議するための対策委員会を定期的に行ってきたが、原因は様々で対応が難しく、解消には継続的・長期的な対応が求められる。今後も関係諸機関と連携を図りつつ、粘り強く児童・保護者に寄り添った対応を行っていく必要がある。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・校内研究主題を「学ぶって楽しい!～主体的に学ぶ学習者の創造～」と設定し、児童の学習意欲を引き出す授業づくりについて研究を重ねた。その結果、小学校学力経年調査において国語科・算数科の平均正答率が大阪市平均に迫ってきた。しかし、学年による大阪市の平均値との差、学力の二極化という課題も大きい。児童の学力の実態を把握・分析し、個別最適な学びの場の充実を図る必要がある。
- ・なわとび週間やかけ足週間等計画的に実施するとともに、保護者への啓発を積極的に行ってきたことにより、運動好きな児童は多くなってきている。今後も体を動かすことへの興味関心を高め、体力向上に取り組んでいく。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- ・心の天気や相談機能、ダッシュボードを活用し児童理解を深めることはできている。しかし、教育情報パソコンについてはどの学年も授業で効果的な活用ができているが、収集した情報をもとに思考力・判断力・表現力を育てる授業づくりについては、研究・改善の余地が十分ある。
- ・教員の働き方改革については、ゆとりの日の設定や行事・会議等の精選を行い長時間勤務の解消に努めている。時間外勤務時間削減に向け、教職員一人ひとりの自覚に加え、効率的な運用を進められるよう取組を継続していく必要がある。
- ・主幹学校司書の配置、地域ボランティアによる読み聞かせや図書館開放、年間1回ずつの全学年へのお話し会の開催、年間複数回の読書週間の実施など、読書活動の推進を行っている。しかし、校内調査では「自分から進んで読書をしている」児童は62.6%という結果で、さらに効果的に取組を継続していく必要がある。

中期目標

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **85%**以上にする。
- 令和 11 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **85%**以上にする。
- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に児童の割合を **85%**以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、**0.9**以上にする。
- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を **78%**以上にする。
- 令和 11 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **90%**以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を **70%**にする。
- 令和 11 年度本市調査における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を **20 時間**以下にする。
- 令和 11 年度小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を **70%**にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

(大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標を含む)

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **83%**以上にする。【R7 80.3%】
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **83%**以上にする。【R7 80.8 %】
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **81%**以上にする。【R7 78.5%】

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より **0.01** ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を **76%**以上にする。【R7 74.1%】
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を **87%**以上にする。【R7 85.7%】

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を **60%**以上にする。【R7 類似項目 59.8%】
- 本市調査における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を **21時間**以下にする。【R7 累計22時間10分】
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を **65%**以上にする。【R7 60.8%】

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。 【R7 80.3%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 83%以上にする。 【R7 80.8%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81%以上にする。 【R7 78.5%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容, 取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめについて考える日やいじめアンケートの実施等により、いじめへの認識を深め、児童が安心して登校できるようないじめの未然防止・早期発見に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめについて考える日 いのちについて考える日」にいじめに関する学習を実施し、振り返りを行う。 ・いじめアンケートを年3回実施し、事後の適切な対応と解消に努める。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめや暴力行為、不登校に関する組織的対応を協議するための対策委員会と、生活指導上の諸課題について全教職員が共通理解するための連絡会を定期的に行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕2回に心の天気の入力や相談申告機能を活用して、児童の心の変化をこまめに把握する。(児童1人につき年間170回の入力をめざす 【R7 170回】) ・ダッシュボードでいいところみつけ・心の天気の入力情報を確認しながら児童理解研修会、生活指導連絡会をそれぞれ年8回以上行う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>社会見学および講師招聘による体験的な学習を行う。また、学年、学級での活動や異学年との交流を通して、自分や他者の価値観を尊重し、相手を思いやる心を醸成し、自尊感情を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会見学や体験学習などを各学年1回以上行う。 ・学年や学級に応じて自尊感情を育てる取り組みを行い、校内調査「自分にはよいところがあると思う」の肯定的回答を85%以上にする。 ・きょうだい学年による集会等異学年交流を実施する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標の達成状況】

○

取組内容①

取組内容②

最終評価に向けての改善点

取組内容①

取組内容②

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 76%以上にする。 【R7 74.1%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 87%以上にする。 【R7 85.7%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容, 取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>語彙力や計算力など基礎基本を重視した個別の学習支援を行う。また、家庭学習の定着ができるように支援する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を活用してデジタルドリルに週2, 3回程度取り組み、基礎基本の学習内容の定着を図る。 課題を一日に1回出し、家庭での振り返りに活用させる。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 健やかな体の育成】</p> <p>話し合い活動を定期的に取り入れ、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日1回は、ペア・グループ・全体交流など段階を踏んだ話し合い活動を取り入れる。 1単元に2回は学習内容を振り返る活動を行う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>スポーツタイムや運動に関する週間を活用し、体力の向上を図るとともに、運動好きな子どもを育てる。また、体ほぐしの運動と体幹を鍛える運動を行うことで、児童の身体能力を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期に一回以上、学年の実態に応じスポーツタイムを実施する。 なわとび週間やかけ足週間を実施し、記録カードにがんばりを記入する。 体育科でスポーツリズムトレーニングなどを取り入れ、体ほぐしの運動と体幹を鍛える運動を行う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標

○

学校の年度目標

○

取組内容①

・

取組内容②

・

最終評価に向けての改善点

取組内容①

・

取組内容②

・

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 60%以上にする。【R7 類似項目 59.8%】</p> <p>○本市調査における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を 21時間以下にする。【R7 累計 22時間 10分】</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 65%以上にする。【R7 60.8%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容, 取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>情報活用能力（ICT）チェックリストをもとに、各教科における学習者用端末を活用できる単元の精選をおこない、学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組みを実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童（5、6年生）校内アンケートで「学習内容に応じて、主体的にパソコン等を活用できる」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。 ・児童（1～4年生）校内アンケートで「パソコンを使って発表をしましたか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。 ・情報活用能力（ICT）チェックリストのアンケートを1回以上行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保としなやかな組織づくり】</p> <p>教員の長時間勤務の解消を通じ、教員が健康で生き生きと働くことができ、子どもたち一人ひとりに向き合う時間を確保することができる環境づくりを行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員自身が終業時刻を意識し、毎月の時間外勤務時間が21時間以下になるよう計画的に業務を進める。 ・ゆとりの日を毎週木曜日に固定できるようにし、1週間の業務のリズムをつくることができるようにする。 ・会議の精選に努め、計画的に会議・研修を実施する。 ・ICT活用を推進し、業務の効率化を図る。 	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>児童の読書週間の定着と言語能力の向上を図るため、日常的な読書活動の充実に取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを招聘し、読み聞かせを全学年で行う。 ・読書週間を年3回行い、読書の習慣をつける。 ・学期に1回3分間読書行い、様々な本に親しむことができるようにする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標の達成状況】

取組内容①

取組内容②

取組内容③

最終評価に向けての改善点

取組内容①

取組内容②

取組内容③